

[01_01]情報処理教育広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6766030>

出版情報：情報処理教育広報. 1 (1), 1978-03-20. Educational Center For Information Processing, Kyushu University

バージョン：

権利関係：



編 集 後 記

- 広報の創刊号をやっと皆様のお手元にお届けすることができます。「すばらしい広報を！」という意気込みはもっていたものの、何しろ限られた期間とスタッフではいかんともし難く「資料」の部分はマニュアルの複写みたいになってしまい、読者の皆様には申し訳なく思っています。
- 九州大学情報処理教育センターの設立を意外と受取っていた他大学の方々も、本号の「報告」を読んでその理由を納得することと思います。この記事から、時代を先取りする構想とこれに対する実績が、今後教育環境を整備して行く上でも常に必要なことをセンターの運営の任に当たる者として痛感した次第です。
- 教室で一心不乱に端末を利用している学生の姿を、羨望（自分達の学生時代を思い起して）と哀れみ（一人当たりの使用時間規制を早晚しなくてはならなくなるという）の複雑な気持ちで眺めていました。一日も早く機能的な正規の建物がたち、せめて図書館並みに肩ひじを張らずに出入できる施設にできたらと考えています。
- 建物と職員の現状で、センターの運用を効率的に行うためには、センターを利用される方々の御理解と御協力が是非とも必要です。皆様方の忌憚のない御意見をお寄せ下さい。
- 主として授業を担当される先生方を対象に、第1回教育講習会を4月の上旬に計画しています。残念ながら本号に間に合わなかった項目などについてはその席を借りて説明する予定です。
- 最後に、本号の「資料」作成に当たっては、東北大学大型計算機センター発行の「利用の手引」を大いに参考にさせて頂いた。関係者の労苦を多としたい。

（宇津宮記）